

# 生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	腹部大動脈瘤に対する INCRAFT スtentグラフトを用いた腹部stentグラフト術の長期成績の検討		
1. 研究の目的と方法	腹部stentグラフト術は、腹部大動脈瘤に対する低侵襲治療として確固たる地位を築き、現在は高齢者のみならず若年者にもstentグラフト治療が施されるようになりました。一方で、stentグラフト治療の懸念点はその耐久性や長期成績であり、特に若年者に対するstentグラフト治療を考慮する上で重要な情報であると言えます。 2012年から2013年にかけて当院にて INCRAFT スtentグラフトを用いた腹部stentグラフト術の国際共同治験を行っており、この治験は術後5年目の経過観察で終了しましたが、現在治療から10年以上が経過したため、これらの患者さんの長期成績を検証することが本研究の目的です。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2025年12月31日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	2012年1月1日から2013年12月31日までの期間に東京慈恵会医科大学附属病院において INCRAFT スtentグラフトを用いた腹部stentグラフト術の国際共同治験に参加した患者さんを対象とします。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	診断名、性別、年齢、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、心電図検査）	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 外科学講座
		氏名	大木隆生
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	東京慈恵会医科大学 外科学講座 小澤博嗣	
(4) 共同で研究 を実施する 施設とその 責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。		

6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 試料・情報の利用開始予定日：2024年3月頃～
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学 外科学講座 研究責任者：教授 大木 隆生（おおき たかお） 窓口担当者：助教 小澤 博嗣（おざわ ひろつぐ） 電話番号：03-3433-1111（内線 3401） 対応時間：平日 9：00 ～ 17：00

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。  
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。